



2022年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年2月14日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9941 URL http://www.taiyo-bussan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏原 滋
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部 マネージャー (氏名) 井坂 勇登 TEL 03-5946-8000
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第1四半期の業績 (2021年10月1日～2021年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	5,202	25.4	175	-	162	-	136	-
2021年9月期第1四半期	4,146	△4.0	△6	-	△21	-	△10	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	85.07	-
2021年9月期第1四半期	△7.93	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年9月期第1四半期	7,803	234	3.0	146.51
2021年9月期	7,587	103	1.3	64.95

(参考) 自己資本 2022年9月期第1四半期 234百万円 2021年9月期 103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年9月期	0.00				
2022年9月期 (予想)		0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年9月期の業績予想 (2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,409	12.0	121	△45.9	64	△62.5	44	△61.0	28.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第1四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年9月期1 Q	1,600,419 株	2021年9月期	1,600,419 株
2022年9月期1 Q	753 株	2021年9月期	753 株
2022年9月期1 Q	1,599,666 株	2021年9月期1 Q	1,327,466 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における経済は、2020年1月頃から顕著になった新型コロナウイルスの世界的な蔓延に対して、依然として収束が見通せず、経済活動の先行が見えない状況の中、当第1四半期会計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要事業である食肉関連において、鶏肉は、東京2020オリンピックの延期による在庫過剰感にも落ち着きがみられてきたことにより、売上高・取扱数量ともに大幅な増加となったものの、牛肉並びにタイ産加工食品は、産地価格の高騰や生産工場のコロナ禍での操業停止等の影響により売上高が減少し、全体として売上高・取扱数量ともに減少となりました。

農産品では、玄蕎麦は産地価格の高騰や、国内市況の影響で売上高・取扱数量とも減少しましたが、大豆並びに緑豆は順調に売上高・取扱数量を伸ばすことができました。また、2020年9月期から取引を始めた中国のネット事業者向け商材の販売は、中国市場の潜在的需要の高さを背景に、取扱商品を着実に増やすことができ、取引を大幅に伸ばすことができました。

輸入豚肉に関しては、前事業年度に商流等の変更があり、新たな商材開拓に取り組んでおります。コロナ禍での営業活動が制限される中でも、売上高・取扱数量とも増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は52億2百万円(前年同四半期累計期間比25.4%増)、営業利益1億75百万円(前年同四半期累計期間は営業損失6百万円)、経常利益1億62百万円(前年同四半期累計期間は経常損失21百万円)、四半期純利益1億36百万円(前年同四半期累計期間は四半期純損失10百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(食料部)

鶏肉は、東京2020オリンピックの延期による在庫過剰感にも落ち着きがみられてきたことにより、売上高・取扱数量ともに大幅な増加となりました。しかしながら、外食産業への販売をメインとしている牛肉並びにタイ産加工食品は、産地価格の高騰や現地生産工場のコロナ禍での操業停止等の影響もあり売上高が減少いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、25億12百万円(前年同四半期累計期間比5.8%減)となりました。

(営業開拓部)

農産品は、産地価格の高騰や、国内市況の影響で玄蕎麦が売上高・取扱数量とも減少しましたが、大豆並びに緑豆は順調に売上高を伸ばすことができませんでした。一方で2020年9月期より取引を始めた中国のネット通販事業者向け商材の販売は、中国市場の潜在的需要の高さを背景に取扱商品を着実に増やすことができ、取引を大幅に伸ばすことができました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、21億18百万円(前年同四半期累計期間比43.9%増)となりました。

(生活産業部)

輸入豚肉に関しましては、前事業年度におきまして、商流等の変更があり、新規商材の開拓に邁進しております。新型コロナウイルスの影響で営業活動が制限されていたものの、当初の予定が徐々に回復した結果、売上高・取扱数量とも増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、5億71百万円(前年同四半期累計期間は売上高4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期累計期間末の資産につきましては、現金預金は減少したものの、売上債権及び商品の増加等に伴い、前事業年度末に比べ2億15百万円増加し、78億3百万円となりました。

負債につきましては、主に仕入債務の増加により前事業年度末に比べ84百万円増加し、75億68百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上等により前事業年度末に比べ1億30百万円増加し2億34百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年2月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,881,724	324,880
受取手形及び売掛金	3,117,143	4,472,785
商品	1,788,663	2,101,362
その他	255,101	358,993
流動資産合計	7,042,633	7,258,021
固定資産		
有形固定資産	263,966	261,793
無形固定資産	2,859	2,859
投資その他の資産	278,386	280,374
固定資産合計	545,212	545,027
資産合計	7,587,845	7,803,049
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	693,479	866,522
短期借入金	6,135,887	6,044,040
未払費用	237,648	336,242
その他	241,528	146,759
流動負債合計	7,308,545	7,393,565
固定負債		
退職給付引当金	130,162	131,858
その他	45,231	43,243
固定負債合計	175,393	175,102
負債合計	7,483,938	7,568,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,414,931	1,414,931
資本剰余金	1,376,871	1,376,871
利益剰余金	△2,694,368	△2,558,277
自己株式	△969	△969
株主資本合計	96,465	232,556
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	7,441	1,825
評価・換算差額等合計	7,441	1,825
純資産合計	103,906	234,381
負債純資産合計	7,587,845	7,803,049

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上高	4,146,111	5,202,740
売上原価	4,045,355	4,904,659
売上総利益	100,756	298,080
販売費及び一般管理費	106,836	122,198
営業利益又は営業損失(△)	△6,080	175,882
営業外収益		
為替差益	—	858
受取賃貸料	2,744	2,433
助成金収入	860	958
その他	623	246
営業外収益合計	4,228	4,497
営業外費用		
支払利息	15,292	12,221
為替差損	1,658	—
その他	2,484	5,817
営業外費用合計	19,435	18,039
経常利益又は経常損失(△)	△21,287	162,340
特別利益		
固定資産売却益	16,299	—
特別利益合計	16,299	—
特別損失		
本社移転費用	4,792	—
特別損失合計	4,792	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△9,780	162,340
法人税、住民税及び事業税	481	25,886
法人税等調整額	269	363
法人税等合計	750	26,249
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,531	136,090

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する内容について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間 (自2020年10月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	食料部	営業開拓部	生活産業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,669,371	1,472,399	4,340	4,146,111	—	4,146,111
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,669,371	1,472,399	4,340	4,146,111	—	4,146,111
セグメント利益又は損失 (△)	19,020	27,115	△7,396	38,739	△44,819	△6,080

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△44,819千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	食料部	営業開拓部	生活産業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,512,353	2,118,841	571,544	5,202,740	—	5,202,740
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,512,353	2,118,841	571,544	5,202,740	—	5,202,740
セグメント利益又は損失 (△)	188,807	29,285	7,491	225,584	△49,702	175,882

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△49,702千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。